

日釣工 LOVE・BLUE 横浜2カ所でカサゴ放流

臨港パーク潮入りと大黒海づり公園に

（一社）日本釣用品工業会は、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE・BLUE事業で、専門機関と連携した放流事業として「釣りフェスティバル2024 in YOKOHAMA」の初日1月19日、パシフィコ横浜に隣接する臨港パーク潮入りの池および横浜市鶴見区にある大黒海づり

公園においてカサゴを放流した。

この日は「釣りフェスティバル」開場に先駆け、臨港パーク潮入りの池と大黒海づり公園にて釣人に喜んで頂くため、専門機関と連携した放流事業としてカサゴ種由5000尾の放流を実施した。

今回の放流は、（公財）神奈川県栽培漁業協会、

「にじいろ保育園みなと園児からは「とても楽しかったです!」と喜びの声が聞かれた。また大黒海づり公園の施設職員たちから「毎年カサゴが良く釣れるようになってきました」と、とても温かく迎えて頂いた。

また大黒海づり公園の施設職員たちから「毎年カサゴが良く釣れるようになってきました」と、とても温かく迎えて頂いた。

「にじいろ保育園みなと園児からは「とても楽し

かったです!」と喜びの

声

が聞かれた。

また大黒海づり公園の

施設職員たちから「毎年

カサゴが良く釣れるよう

ちなみに、この日の放流には、にじいろ保育園

みなとみらい13名、（公財）神奈川県栽培漁業協会が

3名、瀬戸活魚1名、大黒海づり施設職員4名の

合計21名の参加があり、

LOVE・BLUE事業として取り組む放流事業へ協力に対して、日釣工では御礼の言葉を述べて

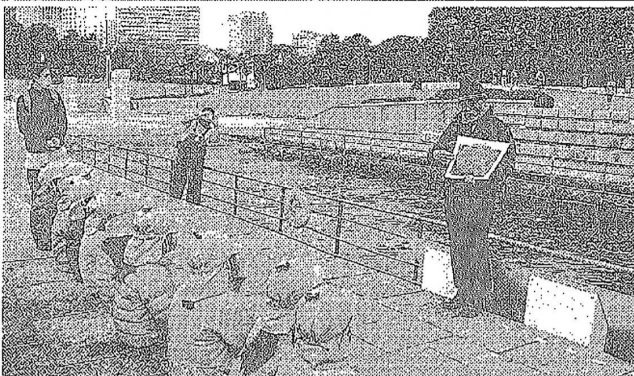
いる。

そして、日釣工の事業では「今後も各地の専門

機関や関係先と連携しながら釣人の皆様に喜んで頂くことはもとより魚族資源の保護増殖をめざした放流事業を全国展開してまいります!」との意向を示している。

機

関や関係先と連携しながら釣人の皆様に喜んで頂くことはもとより魚族資源の保護増殖をめざした放流事業を全国展開してまいります!」との意向を示している。



カサゴ放流。臨港パークでは保育園児も参加、大黒海づり公園でも実施